

連合福島&県労福協 2018 新春交歓会

「企業収益と賃金のいびつな偏りを是正させる！」

～「オールふくしま」のフラッグのもと復興をそれぞれの立場で担う～



主催者挨拶・今野泰
連合福島会長

連合福島の2018年新春交歓会は、県労福協との共催により、さる1月5日（金）に福島グリーンパレスにおいて開催し、県内各地から約310名が出席した。

オープニングでは世界で活躍する口笛奏者・柴田晶子さんとシンガーソングライター・藤野恵美さんの合奏が披露され、続いて主催者を代表して今野泰連合福島会長は「2018年春季生活闘争での役割は企業収益と賃金のいびつな偏りを是正させ、ディセントワークの確立と労働生産性の向上を図り、この財源を企業収益の分配に求めていくこと。東日本大震災、原発事故から7年目を迎え復興創生期間も折り返しを過ぎた。一県民として、組織された労働者として、『オールふくしま』のフラッグのもと、復興をそれぞれの立場で担って参りたい。」と挨拶した。また、多くのご来賓の中から代表して、内堀雅雄福島県知事、民進党福島県連代表代行・金子恵美衆議院議員、県市長会会長・立谷秀清相馬市長から、新年の熱い決意が込められた祝辞を頂戴した。その後、今野会長始め多くのご来賓の方々が壇上にて鏡開きを行い、小野利市県労福協副会長の乾杯の発声で、一年の飛躍を誓い合った後、歓談に入り親睦を深め合った。

来賓を代表してご挨拶を頂いた、(上)内堀雅雄福島県知事、(中)金子恵美衆議院議員、(下)立谷秀清相馬市長



今野会長始め多くのご来賓の皆様による鏡開き

恒例のお楽しみ福引抽選会では、セラムヒートや焼き肉プレート、更には布団乾燥機、ぼなり宿泊券等が当たり、新年早々幸運に恵まれた方々から喜びの歓声が上がった。最後に今泉裕県労福協副会長の閉会の挨拶をもって、大盛況の中2018年新春交歓会は閉会となった。



柴田晶子さん（右）と、藤野恵美さんによる合奏



連合福島鈴木茂副事務局長のオルゴール演奏も加わり三重奏（?!）に